

# 浦舟だより

平成30(2018)年4月13日

第1号(第227号)

横浜市立浦舟特別支援学校  
E-mail: ysurafun@edu.city.yokohama.jp

## 新たな出会いを

校長 長岡 利保

3月末から急に暑くなり、桜も開花から満開までの期間が最短を記録したそうです。大岡川沿いの桜もあわてて満開になっていて、大勢の人たちが携帯や本格的なカメラで風景などを撮っていました。

数日後、桜の花びらが川に敷き詰められ花筏ができ、川をピンクに染めていました。今年もこの桜をこの場所で見ることができ、校長として浦舟で4年目を迎えることをとてもうれしく感じております。

ありがとうございます。

今年度も児童生徒の安心・安全をこころがけ「すべては子どもたちのために」を第一に考え、教職員全員で取り組んでいきます。保護者、地域、病院関係の皆様には、さらなるご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

先日、夜中にふと目が覚め、今年やるべき新しいこともあり不安を感じ「明日、あれをしなくては」「あれはどうなっただろう」「これはどうしたらいいだろう」等々、いろいろなことを考えてしまいました。きりがなくなり「考えるのをやめよう」と何度も繰り返しているうちに、あるとき眉間から力がずっと抜けた感じがしました。解決の見えない難しいことを考えていると、眉間に限らずいろいろなところに力が入ることがわかりました。また、一人であれこれ考えても堂々巡りで解決には至らない、ということも改めてわかりました。「下手の考え休むに似たり」…よい考えが浮かぶわけもないのにあれこれ思案するのは時間の無駄だ、ということだそうです。

4月はスタートの時期でもあり、いろいろ考えたり、悩んだりすることも多いと思います。それをチャンスととらえ一人だけで考えるのではなく、勇気をもって周りにいる人とコミュニケーションをとってみてください。新たな人間関係が生まれ、新しい解決方法が見つかるかもしれません。

ぜひ新たな出会いを求めて、勇気を出して話しかけてみてください。

